こひつじキャンプ in 山中湖

第18回「こひつじキャンプ in 山中湖」報告

真壁（まかべ）　巌（いわお）
救援対策本部広報担当
相愛教会牧師

5月4日（月）～6日（水）、山梨県にある東京YMCA山中湖センターにおいて第18回「こひつじキャンプ」が開催され、初めて参加しました。今回はゴールデンウィークということもあって、参加者は現地集合現地解散（しかも往復の費用は自己負担）という条件でしたが、福島県在住の4家族16名（内1名は生後9か月）とスタッフ8名の計24名が参加しました。中には、キャンプ前日に腰を痛められ、「もう行けない」と大泣きした参加者もありました。

快晴に恵まれた富士山は、まるで参加者が来るのを待っていたかのような美しく見事な姿を惜しみなく披露していました。4家族とも以前にもこひつじキャンプに参加された経験がありましたが、ゴールデンウィークだったこともあり、3家族のお父さんたちは初参加となりました。また生後9か月の幼児を受け入れたのも今回が初めてでしたが、これもご両親がそろっていたために可能となることが実証されました。少人数が幸いしてか、数時間で参加者全員があっというまに家族のように親しくなりました。ゲームにグランド遊び、薪割りから始めたカレーライス作り、息を合わせたビッグカヌー漕ぎ、思い出のクラフト作りや待ち続けたキャンプファイヤー、そして歌いに歌った3日間が瞬く間に過ぎ去りました。

私にとって忘れがたい時となったのは、子どもたちの就寝後にご両親たちと持った語らいの場です。「放射能がない場所で、何も気にせず子どもたちが思いっきり駆け回れたこと」、「価値観の違いからくる分断の凄まじさ」と「このキャンプがいかにストレスの多い親たちを開放する場となっているか」など、今後も更なる関わりが求められていることに気づかされました。このキャンプで初めてお祈りしたというお父さんが言われました。「普段当たり前になっている身の回りにある衣食住を含めたすべてに感謝することを、お祈りや歌を通じて学んだと思います」。この思いが今後の家族の絆となるよう願っています。

もう一人、参加されたお父さんの感想をお読みください。ぜひお届けしたい言葉です。

《お父さんの感想より》

3日間楽しく過ごすことができました。天気にも恵まれ、素晴らしい富士山も堪能できました。私たち家族は震災後の生活で、たくさんの楽しいこと、困難を経験してきました。今回のキャンプはもちろん楽しい思い出です。妻が腰を悪くして、スタッフの方々にもご心配をおかけしてしまいましたが、お陰様で楽しめたようです。子どもたちは野山を駆け巡り、ころがりまわり、湖面へと出かけ、たくさんの笑顔をお土産に帰ります。本当にありがとうございました。東京YMCAの新聞記事にもしてもらいましたが、福島県に住む人は、たくさんの思いが錯綜しており、コミュニティーが崩壊しかかっている厳しい状況にあります。人と人とのつながりが幸せな世の中を作ると思っています。こうした心温まるキャンプなどを通じて、素敵な未来を作り、子どもたちへ明るくて希望に満ち溢れた毎日を残していきたいと思っています。参加者そしてスタッフの皆さん、お互いに成長の場となったと感じています。また機会があればぜひお会いしましょう。今回は本当にありがとうございました。（T. N.）

日本基督教団

東日本大震災救援対策本部ニュース

Vol. 17

2015年6月1日発行

169-0072　東京都新宿区大久保 1-7-18-4F　T/F 03-3205-6088　救援対策本部長　石橋秀雄

救援対策本部のこれからの役割

■震災救援募金を終えて

多くの方々の祈りと共に献げられてきました東日本大震災救援募金がこの3月末をもって終了いたしました。目標の10億円を超える献金が寄せられ、主の導きと皆様のお支えに深く感謝し、主の御名を誉め讃えています。被災教区と被災された教会・伝道所からの復興についての報告や必要を受けとめ、被災者支援をも祈りつつ教団全体で取り組んできましたこの業が、主の恵みの内にここまで進みましたことを思い、重ねて主に感謝いたします。教団のこれまでの救援活動もこれからの活動もすべて皆様の祈りに支えられてなされ、またなされていくものであり、多くの方々の共なる歩みがここにあることをあらためて受けとめつつ事柄に向き合っております。

■奥羽教区被災地訪問の中で

3月末から4月初めに、雲然書記と共に奥羽教区の被災地を訪ねる時を持たせて頂きました。被災から4年の時が経ち、地域の状況が大きく変化している場所といまだ被災時のままで何も変わっていない地との両方を見ることになりました。そして被災された方々の生活や思いの中にもその両面があることを訪問と交わりを通して教えて頂きました。仮設住宅の「お茶っこ」で温かく迎えてくださった方々の笑顔と課題に対する前向きな考えに励まされ、しかし被災の苦しみと将来への不安に生きておられる現実の厳しさを伺うことになりました。被災教会での祈祷会に加えて頂き、またお訪ねした教会で共に祈りながら、私たちのこれからの歩みについて主の導きを更に求めました。

■これからの活動と役割

教団の震災救援対策本部が進めている活動は2017年3月まで続けられます。これは本部ニュースの前号で石橋議長が記されている通りです。被災教区の活動を支え、被災教会・伝道所の会堂・牧師館等の復興支援を進めます。すでに多くの教会・伝道所が会堂等の改築や修理を終え、新たな歩みへと踏み出しておられますが、これから工事を予定されている教会や現在工事中の教会もあります。救援対策本部はこれらの教会・伝道所の歩みを覚えつつ工事への支援と貸出しを継続してゆきます。また工事を終えられた教会・伝道所の殆どはこれから10年20年と多くの負債を返済してゆくことになりますが、その歩みが主に導かれますよう被災教区と共に祈ってゆくことになります。被災者支援のプログラムも含めてあと2年間でどれだけの働きができるのかは分かりませんが、私たちの小さな歩みを主が豊かに祝福してくださることを今までの活動で教えられてきました。その喜びに満たされ、救援対策本部はこれからの働きをも主に委ねてできるだけの活動を被災教区や教会・伝道所と共になしてゆくことになるでしょう。

震災復興のために諸外国の教会等から多くの祈りと具体的な支援を頂いています。それらを用いて人道的支援や地域への支援がなされてきましたが、これらの教会や団体への感謝と報告もこれからの大切な働きとなります。先に行われた国際会議を受けて海外の教会会議で東日本大震災の被害報告や復興支援の報告が求められ、また今後の取り組みについての考えが求められています。これに応えて活動の全体を整理し、これからの必要を明らかにすることも課題となります。

原発事故による放射能被災者支援等についてはこれから長期の活動が必要となるのかもしれません。現在「東北教区放射能問題支援対策室いずみ」が多くの方々の祈りと支えによって活動しています。教団・教区の協力の中でこれからの働きが検討され、被災地のこどもたちへのよき奉仕が可能になることを願っています。

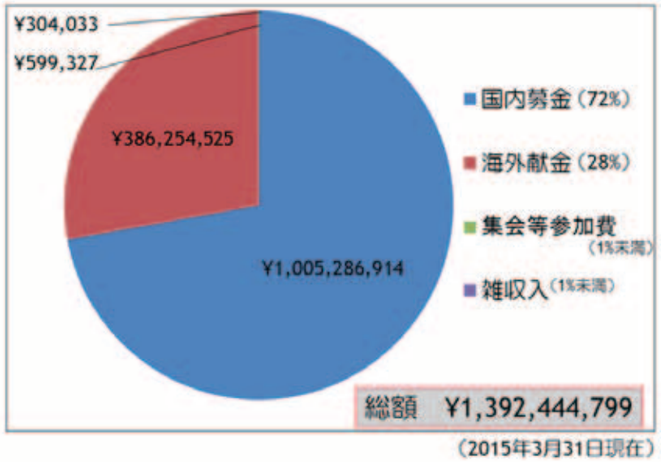
震災救援対策本部また対策室の働きは被災地のため、被災教会・伝道所のためになされるものです。活動が活動自体のためにあるのでなく、これまで同様被災者の方々を覚えてなされ、主に祈るものであり続けるようこれからの2年間進んでゆきたいと願っています。

総会副議長
救援対策室長
佐々木美知夫

東日本大震災救援募金

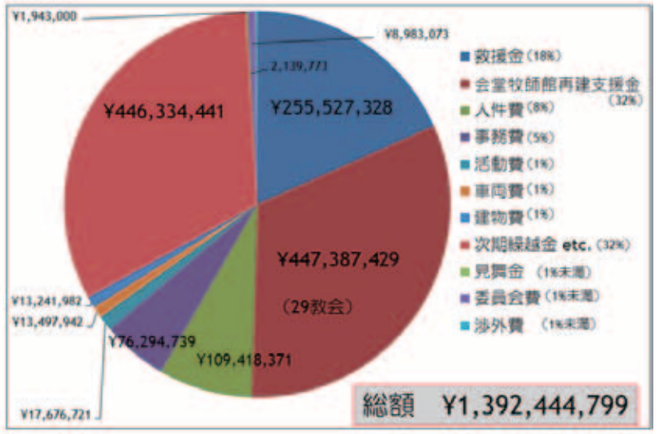
2011年7月1日～2015年3月31日

1-1.収入内訳



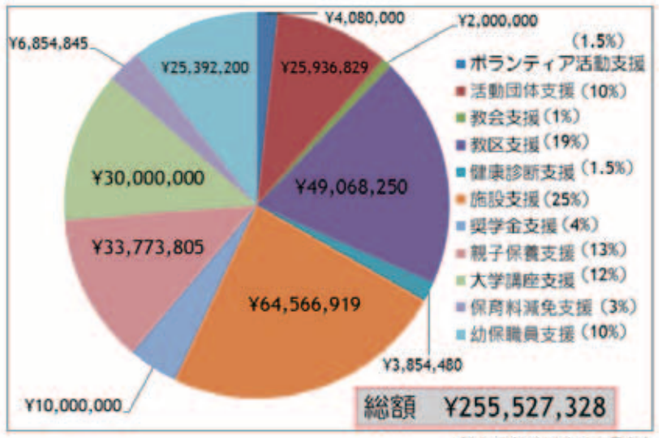
（2015年3月31日現在）

1-2.支出内訳



（2015年3月31日現在）

1-3.救援金内訳



（2015年3月31日現在）

■東日本大震災会堂牧師館支援金支給教会（2015/3/31 現在）

【奥羽教区・1教会】

1.千厩教会	25,000,000 円

【東北教区・16教会】

1.福島教会	50,000,000 円
2.常磐教会	40,950,000 円
3.中村教会	36,750,000 円
4.白石教会	30,000,000 円
5.鹿島栄光教会	21,000,000 円
6.川俣教会	15,900,000 円
7.岩沼教会	14,000,000 円
8.福島新町教会	8,500,000 円
9.仙台ホサナ教会	7,000,000 円
10.郡山細沼教会	5,206,129 円
11.名取教会	4,000,000 円
12.安積教会	2,000,000 円
13.角田教会	1,700,000 円
14.勿来教会	700,000 円
15.いずみ愛泉教会	500,000 円
16.三春教会	300,000 円

【関東教区・11教会】

1.宇都宮教会	64,470,000 円
2.伊勢崎教会	35,000,000 円
3.宇都宮上町教会	35,000,000 円
4.下館教会	12,500,000 円
5.桐生東部教会	7,587,550 円
6.甘楽教会	3,000,000 円
7.原市教会	3,000,000 円
8.佐野教会	1,239,000 円
9.水戸自由ヶ丘教会	937,750 円
10.益子教会	910,000 円
11.足利東教会	287,000 円

【東京教区・1教会】

1.安食教会	19,950,000 円

■支援金支給額総計

447,387,429 円

■東日本大震災会堂牧師館貸出金貸付教会（2015/3/31 現在）

【奥羽教区】

1.千厩教会	25,000,000 円（完済）

【東北教区】

1.常磐教会	35,000,000 円
2.中村教会	30,750,000 円
3.鹿島栄光教会	21,000,000 円
4.福島教会	20,000,000 円
5.岩沼教会	14,000,000 円（完済）
6.川俣教会	10,900,000 円
7.福島新町教会	8,500,000 円
8.仙台ホサナ教会	7,000,000 円
9.郡山細沼教会	5,206,129 円
10.名取教会	4,000,000 円
11.安積教会	2,000,000 円
12.角田教会	1,700,000 円
13.いずみ愛泉教会	500,000 円
14.三春教会	300,000 円

【関東教区】

1.宇都宮教会	39,500,000 円
2.宇都宮上町教会	32,500,000 円
3.伊勢崎教会	24,000,000 円
4.清愛幼稚園	10,000,000 円
5.竜ヶ崎幼稚園	10,000,000 円
6.アジア学院	9,000,000 円

■貸付金残額

249,435,500 円

※上記「東日本大震災会堂牧師館貸出金貸付教会」は左グラフとは別会計です。

東日本大震災救援募金会計 総額 1,391,541,439円

国内 1,005,286,914円 海外 386,254,525円

2015年3月31日現在

東日本大震災救援対策委員会会計、
東日本大震災救援対策本部会計中間収支計算書
総合計2011年3月12日～15年3月31日（単位:円）

【収入の部】	
繰　入　金	50,000,000
海外募金収入 *1	386,254,525
国内募金収入	1,005,286,914
集会等参加費	599,327
雑収入	304,033
繰入金収入	197,036,919
長期借入金収入	400,000,000
長期貸付金回収収入 *2	131,420,629
当年度収入合計 (A)	2,170,902,347
前期繰 越 収支差額	
収 入 合 計 (B)	
【支出の部】	
救　援　金 *3	255,527,328
会堂牧師館再建補助金 *4	447,387,429
見　舞　金	1,943,000
委 員 会 費	8,983,073
渉　外　費	2,139,773
人　件　費	109,403,825
事　務　費	76,150,739
活　動　費	17,676,721
車　両　費	13,497,942
建　物　費	13,241,982
繰入金支出	197,036,919
長期貸出金支出	630,856,129
積立て預金支出	50,767,539
救援対策基金戻入金	50,000,000
長期借入金返済支出 *6	150,000,000
当年度支出合計 (C)	2,024,612,399
当年度収支差額 (A)-(C)	146,289,948
次期繰越収支差額 (B)-(C)	

＊1　海外募金内訳

15.2.4	RCA 献金 / 人道支援として	5,000,000
15.3.12	EV. Missionswerk in Deutschland 復興支援献金	379,520

＊2　長期貸付金回収

15.2.10	関東＿宇都宮教会	2,040,000
15.2.12	東北＿角田教会	1,530,000
15.2.16	東北＿福島新町教会	300,000
15.2.25	東北＿名取教会	200,000
15.3.30	東北＿中村教会	2,000,000

＊3　救援金

15.2.5	2015.1/4-7 第３回こひつじｷｬﾝﾌﾟ in 台湾	49,505
15.3.3	放射能対策室「いずみ」スタッフ人件費　2014年度分（2014年４月 ～ 2015年３月分）等	7,865,626
15.3.31	3/28-31 第４回こひつじキャンプ in 台湾	3,150,439

＊4　会堂牧師館再建補助金

15.2.24	関東＿佐野教会	1,239,000

東日本大震災緊急救援募金・東日本大震災救援募金教区別集計表（単位：円）
【2011年3月15日～2015年月3月31日】

教区	件数合計	金額合計
北海	186	7,108,956
奥羽	220	8,516,802
東北	103	3,755,237
関東	1,286	74,490,772
東京	2,402	263,080,535
東京教区	*17*	*5,217,591*
東京・東	*410*	*38,043,928*
東京・西南	*652*	*100,761,334*
東京・南	*242*	*40,080,774*
東京・北	*417*	*30,951,959*
東京・千葉	*664*	*48,024,949*
西東京	1,026	97,177,739
神奈川	808	66,397,340
東海	773	197,392,034
中部	865	83,490,183
京都	116	11,243,307
大阪	624	42,755,937
兵庫	140	11,354,066
東中国	146	8,004,103
西中国	247	22,284,141
四国	477	21,944,660
九州	496	22,956,437
沖縄	133	2,890,111
個人・他	1,418	60,444,554
総計	11,466	1,005,286,914

Ⅰ．左頁のグラフ中、１－２．の支出内訳の18%を占め、1-3．で示されている救援金支出の具体的内容は以下の通りです。（1）ボランティア活動支援:震災初期のボランティア活動支援（食費等）（2）活動団体支援:震災初期の他団体支援（炊き出し等）、東北教区放射能問題支援対策室「いずみ」人件費支援（3）教会支援：被災した教会へのお見舞い金、会津放射能情報センター支援等（4）教区支援：被災教区への救援金支給、食品放射能測定器支給、エマオ仙台・石巻人件費支援等（5）健康診断支援：被災教区の教会関係者の健康診断（6）施設支援：堀川愛生園（児童養護施設）・あだたら育成園（障害者支援施設）・アジア学院支援等（7）奨学金支援：盛岡大学、尚絅学院大学（8）親子保養支援：「こひつじキャンプ」（17回）等（9）大学講座支援：東北大学臨床宗教師養成講座支援（10）保育料減免支援：幼稚園・保育園の保育料減免（11）幼保職員支援：被災した幼保職員へのお見舞い、室内遊具支援等

Ⅱ．左頁のグラフ中、１－２．の支出内訳の32%を占める2015/2016年度次期繰越金等支出予定内容は以下の通りです。

1. 教会牧師館再建支援金：1億2,890万円
   ※ 水戸中央教会（5,000万）・宮古教会（4,000万）・江刺教会（3,500万の予定）・一関教会（390万）
2. 2015年度／2016年度活動費：1億2,107万円 ×2年＝2億4,214万
   【内　訳】
   （1）本部:5,187万円（①事業費:3,265万円 ②人件費:1,000万円 ③その他経費:522万円 ④活動費:220万円 ⑤退職金積み立て:180万円）×2年＝1億374万円（2）エマオ仙台：1,620万円 ×2年＝3,240万円（3）エマオ石巻：1,460万円 ×2年＝2,920万円（4）ハートフル釜石：2,340万円 ×2年＝4,680万円（5）こひつじキャンプ：1,500万円 ×2年＝3,000万円
3. 引当金：5,000万円
4. 借入金利子（15年間）：1,500万円

■支出予定総額：4億3,604万円　■予備費：1,029万4,441円　■計：4億4,633万4,441円